

令和8年度事業計画

<重点目標>

一般社団法人下関観光コンベンション協会の組織強化と活動の一層の充実を図るため、次の事項を令和8年度の重点目標として取り組んでまいります。

1. 組織体制の強化

- (1) 理事会、三役会等による協会組織体制強化
- (2) DMO設立を見据えた準備体制の検討・構築
- (3) コアメンバーによる問題解決会議の開催
- (4) 働く意欲の向上につながる職員給与・待遇等の改善による事務局体制強化

2. 官民協力体制の強化

- (1) 情報共有・役割分担のための定例会合の開催
- (2) 協力体制の強化・再構築

3. 財政基盤の強化

- (1) 新規会員の加入促進
- (2) 旅行業等による収益事業の取り組み強化
- (3) 上臈道中事業の収支健全化

4. 観光振興事業の強化

- (1) 旅行エージェントへの営業強化（体験型観光・周遊観光・修学旅行）
- (2) しものせき観光キャンペーン事業の取り組み強化
- (3) インバウンド事業強化
- (4) 情報発信力強化、特にデスティネーションキャンペーンでお越しになる観光客への発信及びおもてなしの充実
- (5) 他団体との連携強化

5. MICE誘致の強化

- (1) MICE誘致への戦略的な取り組みの強化
- (2) 的確なサポートによるMICE主催者からの高評価獲得
- (3) スポーツ大会誘致への取り組み、下関市との連携強化

当協会の令和8年度の活動は、前年度に引き続き5つの重点目標を掲げて取り組んでまいります。当該年度は山口デスティネーションキャンペーンの本キャンペーンの年であり、これまで積み上げてまいりました取り組みに対する成果が試されることとなります。一方で、将来の観光まちづくり法人（DMO）設立を視野に入れた組織体制を構築していく必要があります。これらを踏まえ、市

内関係各団体との協力関係をより一層強化するとともに、以下に掲げる観光振興策、おもてなし策等を実施してまいります。

重点目標の一つ目、組織体制の強化については、現在の理事会、三役会等による情報の共有に努めるとともに、DMO設立へ向けた準備体制の構築をはかるべく、情報収集、意見交換の機会を増加させてまいります。

また、事務局の運営力に必要な処遇の改善について、未だ低水準にある給与水準を少しでも目標に近づけるよう、行政の協力を仰ぎながら改善に努めてまいります。

重点目標の二つ目、官民協力体制の強化については、行政サイドと当協会相互で定期的協議を継続しつつ情報共有と両者の役割分担を図り、より強力な体制の実現に繋げてまいります。行政と当協会との役割分担については、しものせき観光キャンペーン実行委員会においても指摘を受けており、分かりやすく円滑でターゲットを的確につかんだPRを目指して協議・検討を進めてまいります。

重点目標の三つ目、財政基盤の強化については、新規会員の加入促進に取り組むことはもとより、旅行業等を通じた収益事業の強化に引き続き取り組みます。また、将来のDMO設立を見据え、新たな収入源確保策についても検討してまいります。

上臈道中参拝行事の収支健全化に向けては、民間からの寄付が低迷しており、依然として資金繰りが厳しい状況にあることから、寄付金の増へとつなげるため、内外を問わず行事自体の知名度を更に高め、寄付の呼びかけを強化してまいります。

重点目標の四つ目、観光振興事業の強化についてです。

当協会が会長並びに事務局を務める「しものせき観光キャンペーン実行委員会」において、昨年も新たに体験型商品を作り、全国の旅行代理店へ発信した結果、着実に商品造成につながっており、成果を見せております。2027年のキャンペーン企画についても、当協会が企画立案に努めてまいります。また、下関へお越しになる観光客の皆様へ向けた旅マエ・旅ナカの情報発信について、戦略部会等では出されている意見を参考にしつつ、適切かつ的確な発信に努めてまいります。

インバウンド事業については、昨年立ち上げた「クルーズ客船おもてなし推進協議会」を中心としたおもてなしサービスを行ってまいりましたが、より多くのインバウンド客の皆様の下関を楽しんでいただくため、新たな体験プログラムの導入や外国語対応サポーターの拡充等、行政サイドとも連携を密にしながらもう一步踏み込んだ対応について検討してまいります。

本年第6回目となる「三つの日本一 ふく、くじら、あんこう祭り」については、過去5年間の実績を踏まえ、新年度は夜のイルミネーション等の演出に力を入れる事業を実施し、山口デスティネーションキャンペーンとの相乗効果を狙い、当協会を中心に飲食、宿泊、観光、交通事業者等全ての関係団体で連携し、「食の宝庫 下関」を確固たるものとするべく努力してまいります。

重点目標の五つ目、経済波及効果の高いMICE誘致については、引き続き当協会が中心になって取り組みを推進します。本年も4月の日本小児科学会（4000人規模を予定）をはじめ国際会議を含む大小のMICEが開催予定であり、誘致へあと一步の案件も多数あります。地道な取り組みが誘致へとつながることから、下関での開催が実現するよう、努力を継続してまいります。

以上、掲げました5つの重点目標に愚直に取り組み、本市の歴史・自然・食と豊富な観光資源を最大限活用した観光・コンベンション両事業を通して交流人口の拡大を図り、地域活性化の推進、元気でホスピタリティあふれるまちづくりに努め、自他ともに認める観光都市&コンベンション都市を目指します。そして何より、当協会の会員皆様の利益に繋がり、信頼に応えることのできる協会となるべく努力してまいります。

<事業内容>

1. 観光客の誘致促進と物産等の紹介宣伝及び観光行事の開催・助成事業

- (1) しものせき観光キャンペーン事業
- (2) 観光宣伝事業
- (3) 先帝祭上臈道中事業の伝統保存並びにPR事業
- (4) 三つの日本一 ふく、くじら、あんこう祭り開催
- (5) 「食の宝庫 下関」PR推進
- (6) 体験型観光推進
- (7) 周遊観光ルート作成、推進
- (8) 修学旅行誘致促進
- (9) 関門海峡花火大会への協力
- (10) 馬関まつりへの協力
- (11) ふくの日まつり及びふく供養祭への協力
- (12) 郷土芸能保存育成事業
- (13) その他各種地域観光行事への協力

2. 観光に関する調査研究並びに情報収集・発信事業

- (1) ホームページの充実
- (2) Facebook、Instagramを通じた情報発信
- (3) マスコミ（テレビ、雑誌等）活用による情報の提供
- (4) 観光関係資料の収集と調査研究
- (5) 会員からの積極的情報収集及び発信
- (6) DMO設立へ向けた調査並びに情報収集

3. 観光資源の保存及び開発事業

- (1) 紅葉館管理運営
- (2) 観光資源等調査

4. 観光客への利便提供と接遇の向上に必要な事業

- (1) 下関港国際ターミナル観光案内所の管理運営
- (2) JR 下関駅、新下関駅観光案内所、観光情報発信ターミナルの管理運営
- (3) 観光ガイド・観光案内所職員の育成
- (4) 観光サービス講習会の開催

5. 観光事業関係団体及び観光機関との連携事業

- (1) 市・県等の公的関係機関との協力並びに連絡調整
- (2) 県内外、各観光・コンベンション等団体との協力並びに連絡調整
- (3) 日本観光振興協会等との連絡調整
- (4) 市内各種団体との協力並びに連絡調整

6. M I C E 誘致推進事業

- (1) M I C E の誘致及び支援活動
- (2) M I C E の広報及び宣伝活動
- (3) M I C E の調査及び企画
- (4) M I C E の情報収集及び提供

7. 国際観光事業

- (1) 外国人観光客の誘致並びに滞在促進事業
- (2) Weibo、Rednote（中国向け）、Facebook（台湾向け）の充実
- (3) 関門港クルーズ振興協議会事業
- (4) 大型クルーズ客船受け入れ促進事業
- (5) 外国人観光客向け観光案内業務の充実
- (6) 大韓民国姉妹締結協会等との交流事業

8. 収益事業の開発と財政基盤の強化

- (1) 新規会員入会促進
- (2) 新たな収益事業の検討及び実施
- (3) 旅行業・委託事業における収益確保、拡大
- (4) 海峡花火大会等のチケット受託販売
- (5) ふるさと納税「下関共通宿泊券」発行
- (6) 観光カレンダー、名刺台紙、先帝祭クリアファイル、先帝祭絵葉書、ふく刺し缶バッジ、ふく刺しマグネット、ふく恋盛り缶バッジ、本州最西端到達証明書、ふく提灯ペーパークラフト、観光絵葉書、ふく刺しTシャツ、ピンバッジ、ペナントシール等の販売